

義務教育の通学費は全額補助に

「どの子どももお金の心配なし」
安心して学校に通えるように！」

昨年の事業仕分けで、遠距離通学費補助が見直しとされました。

合併して4年、大津市と志賀町との通学補助制度の統一を図ろうというもの。

距離に制限を設けていない旧志賀町と、大津市の中学生は5km小学生は3km以上を補助対象としている制度に合わせれば、志賀中の生徒の半数和邇 木戸学区のほぼ全域)、小松小学校の約30人が補助からはずされてしまいます。

岸本市議は「交通費がかかるのは、自己責任ではない。大津のどこに住んでもお金の心配なく等しく通学できる、条件整備こそ行政の役割」と迫りました。

教育長はあくまで補助制度などで距離を変えるつもりはない。平成23年度を用途に補助制度のあり方を考える」と答弁しています。

旧志賀町時代は通学費全額補助！

合併による「緩和措置」で、今日まで距離に制限はなかったと当局はいますが、旧志賀町では距離に関係なくすべての生徒に全額補助されていたのです。

しかし、大津市との合併で8割補助、5割補助と削減されてきたのです。

1977年(昭和52年)蓬萊に志賀中学校総合校舎が新築されたとき、地域・行政・議会が議論を重ねて、どの子どもも平等に安心して通学できるようにと全額補助されたのです。こんな当たり前な考えが、事業仕分け されてよいのでしょうか。

大津市土砂条例に関しては次回へ



こんにちは

岸本のり子です

発行 日本共産党
大津湖西地区委員会
連絡先 日本共産党大津市会議員
岸本のり子
大津市和邇春日2丁目
ケイタイ 08031163877

2010・3/21 86

日本共産党

サイエンスパークの残地の買い取りはやめるべき！

大津市は里山として保全活用する区域85ヘクタールを取得しようとしています。

岸本市議は、「この間議会ごと」「JRRを手助けするための土地買い取りは面積に関係なく止めよ」と訴えてきました。

新年度予算には、財政難を反映してか、買い取り価格は計上されませんでした。

岸本市議は今議会でも、大不況のもと大津市が最優先すべきは市民のくらしを守ることであり、土地の取得を断念することを強く求めました。

生活・健康相談をします

県会議員 ふしきみちよ
市会議員 岸本のり子
医療や介護、国保、年金多重債務、県政、市政への要望など
お気軽におこください。無料です

3/27(土)午前10時~正午
小島義雄さん宅をお借りして行ないます。
大津市緑町6の8 TEL574-0068
まの北小学校すぐ横です
もしわからなかったら岸本のり子
ケイタイにお電話ください。

ゆずりますコーナー

好評



照明具

ドレッサー



「目下家具の整理をしています。どなたか使っていただけませんか」とローズにお住まいの方から申し出がありました。
申し込みは
594-0190谷まで